

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-57210

(P2000-57210A)

(43) 公開日 平成12年2月25日 (2000.2.25)

(51) Int. CL ⁷	識別記号	F I	テ-コ-ド ⁸ (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	A
// G 0 9 C 1/00	6 4 0	G 0 9 C 1/00	6 4 0 B
	6 6 0		6 6 0 A
			6 6 0 B

審査請求 未請求 請求項の数30 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願平11-180905

(22) 出願日 平成11年6月25日 (1999.6.25)

(31) 優先権主張番号 09/106,600

(32) 優先日 平成10年6月29日 (1998.6.29)

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 595034134

サン・マイクロシステムズ・インコーポレ
イテッドSun Microsystems, I
nc.

アメリカ合衆国 カリフォルニア州

94303 バロ アルト サン アントニオ
ロード 901

(74) 代理人 100078282

弁理士 山本 秀策

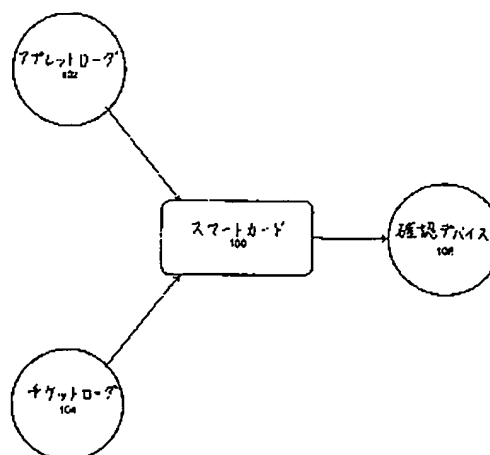
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スマートカードを用いた多関能地チケット発券

(57) 【要約】

【課題】 単一の電子デバイス（スマートカード、および携帯コンピュータなど）上に複数の開催地で提供されるイベントに対する電子チケットを格納するためのシステムおよび方法が提供されること。

【解決手段】 チケットを格納するために電子デバイスを使用する方法であって、第1の開催地に関連する第1の開催地モジュールを受信する工程であって、第1の開催地モジュールが第1の開催地に対するチケットを確認するための第1の開催地鍵を含む、工程と、第1の開催地モジュールを電子デバイスのモジュールロード機能を用いて確認する工程と、第1の開催地で提供されるイベントに対する第1のチケットを受信する工程と、第1のチケットに関連する第1のチケット署名を受信する工程と、第1のチケット署名を第1の開催地鍵を用いて認証する工程と、第1のチケットを第1の開催地の確認デバイスに提供する工程と、を包含する方法が提供される。



(2)

特開2000-57210

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 チケットを格納するために電子デバイスを使用する方法であって、

第1の開催地に関連する第1の開催地モジュールを受信する工程であって、該第1の開催地モジュールが該第1の開催地に対するチケットを確認するための第1の開催地鍵を含む、工程と、

該第1の開催地モジュールを該電子デバイスのモジュールロード鍵を用いて確認する工程と、

該第1の開催地で提供されるイベントに対する第1のチケットを受信する工程と、

該第1のチケットに関連する第1のチケット署名を受信する工程と、

該第1のチケット署名を該第1の開催地鍵を用いて認証する工程と、

該第1のチケットを該第1の開催地の確認デバイスに提供する工程と、を包含する方法。

【請求項2】 第2の開催地に関連する第2の開催地モジュールを受信する工程であって、該第2の開催地モジュールが該第2の開催地のためのチケットを確認するための第2の開催地鍵を含む、工程と、

該第2の開催地モジュールを前記モジュールロード鍵を用いて確認する工程と、

該第2の開催地で提供されるイベントのための第2のチケットを受信する工程と、

該第2のチケットを用いて第2のチケット署名を受信する工程と、

該第2のチケット署名を該第2の開催地鍵を用いて認証する工程と、をさらに包含する方法であって、

前記第1の開催地が該第2の開催地と異なる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 共有モジュールを受信する工程であって、該共有モジュールが前記第1の開催地モジュールによって使用される命令を含み、該第1の開催地モジュールを確認するための共有開催地鍵を有する、工程と、該共有モジュールを前記モジュールロード鍵を用いて確認する工程と、をさらに包含する請求項1に記載の方法。

【請求項4】 前記第1の開催地モジュールおよび前記共有モジュールの各々がモジュール署名を含み、前記確認する工程が前記確認されたモジュールの該モジュール署名を前記モジュールロード鍵を用いて認証する工程を包含する、請求項3に記載の方法。

【請求項5】 前記第1の開催地モジュールを前記共有開催地鍵を用いて確認する工程をさらに包含する、請求項3に記載の方法。

【請求項6】 第1のチケットを受信する工程が、チケットロードからのチャレンジを受信する工程と、該チャレンジを前記第1の開催地鍵を用いて署名する工程と、

該署名されたチャレンジを該チケットロードに送信する工程と、を包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】 第1の開催地モジュールを受信する工程が、

第1の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第1の一連の命令を受信する工程と、

該第1の開催地のための第1の開催地鍵を受信する工程と、

該一連の命令を格納する工程と、

該一連の命令に関連する該第1の開催地鍵を格納する工程と、を包含する請求項1に記載の方法。

【請求項8】 共有モジュールが前記電子デバイス上に格納されているかどうかを判断する工程と、

該共有モジュールが該電子デバイス上に格納されていない場合は、該共有モジュールを受信する工程と、をさらに包含する請求項7に記載の方法。

【請求項9】 前記共有モジュールを受信する工程が、1つ以上の開催地モジュールによって使用される第2の一連の命令を受信する工程と、

該1つ以上の開催地モジュールを確認するための開催地ロード鍵を受信する工程と、

該第2の一連の命令を格納する工程と、

該第2の一連の命令に関連する該開催地ロード鍵を格納する工程と、を包含する、請求項8に記載の方法。

【請求項10】 前記確認する工程が、前記第1の開催地モジュールのモジュール署名を前記電子デバイスのモジュールロード鍵を用いて認証する工程を包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項11】 前記第1のチケットをキャンセルする工程をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項12】 前記第1のチケットをキャンセルする工程が該第1のチケットを無効にする工程を包含する、請求項11に記載の方法。

【請求項13】 前記共有モジュールを無効にする工程と、

新しいバージョンの該共有モジュールを受信する工程と、

をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項14】 電子デバイス上で複数の開催地のためのチケットを維持する方法であって、

第1の開催地モジュールを格納する工程であって、該第1の開催地モジュールが第1の開催地と関連しそして第1の開催地鍵を含む、工程と、

チケットロードからチャレンジを受信する工程と、

該第1の開催地鍵を使用して、第1のデジタル署名を用いて該チャレンジを署名する工程と、

該署名されたチャレンジを該チケットロードに送信する工程と、

該第1の開催地におけるイベントに対する入場許可のための第1の電子チケットを受信する工程と、

第1のチケット署名を受信する工程であって、該第1の

(3)

特開2000-57210

3

4

チケット署名が該第1の電子チケットと関連する。工程と、

該第1の開催地鍵を用いて、該第1のチケット署名を認証する工程と、を包含する方法。

【請求項15】 第2の開催地モジュールを格納する工程であって、該第2の開催地モジュールが第2の開催地と関連しそして第2の開催地鍵を含む。工程を、さらに包含する方法であって、

該第2の開催地が該第1の開催地と異なる、請求項14に記載の方法。

【請求項16】 前記第2の開催地におけるイベントに対する入場許可のための第2の電子チケットを受信する工程と、

第2のチケット署名を受信する工程であって、該第2のチケット署名が該第2の電子チケットと関連する。工程と、

前記第2の開催地鍵を用いて、該第2のチケット署名を認証する工程と、をさらに包含する請求項15に記載の方法。

【請求項17】 共有モジュールが格納されたかどうかを判断する工程であって、該共有モジュールが前記第1の開催地モジュールによって要求される命令を含む。工程と、

該共有モジュールが格納されていないならば、該共有モジュールを格納する工程と、をさらに包含する請求項14に記載の方法。

【請求項18】 チャレンジを受信する工程が生成された乱数を受信する工程を包含する、請求項14に記載の方法。

【請求項19】 第1の電子チケットを受信する工程が、前記第1の開催地におけるイベントの1つ以上の詳細を受信する工程を包含する、請求項14に記載の方法。

【請求項20】 チケットを提出する方法であって、該チケットが複数の開催地のためのチケットを格納することのできる電子デバイス上に格納され、

開催地において確認デバイスからチャレンジを受信する工程と、

第1の開催地鍵を使用して該チャレンジを署名する工程と、

該署名されたチャレンジを該確認デバイスに送信する工程と、

該開催地におけるイベントのための第1のチケットに対する要求を受信する工程と、

該第1のチケットを送信する工程と、を包含する方法。

【請求項21】 前記第1のチケットがキャンセルする工程をさらに包含する請求項20の方法。

【請求項22】 チャレンジを受信する工程が、生成された乱数を受信する工程を包含する、請求項20に記載の方法。

10

【請求項23】 前記第1のチケットを送信する工程が、前記イベントのための該第1のチケットを包含する1つ以上の詳細を送信する工程を包含する、請求項20に記載の方法。

【請求項24】 格納のためのメモリデバイスを備えるチケット格納装置であって、

第1の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第1の開催地モジュールと、

該第1の開催地モジュールを確認するためのデバイス鍵と、

該イベントのための第1のチケットであって、該チケットがチケット署名を有する。第1のチケットと、

該チケット署名を認証するための開催地鍵と、

チケットローダおよび確認デバイスのうちの1つと該第1の開催地モジュールとのインターフェースをとるためのインターフェースモジュールであって、複数の開催地モジュール間で共有可能である、インターフェースモジュールと、を格納するためのチケット格納装置。

【請求項25】 第2の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第2の開催地モジュールをさらに備える請求項24に記載の装置。

【請求項26】 前記チケット格納装置がスマートカードを備える、請求項24に記載の装置。

【請求項27】 前記チケット格納装置が携帯コンピュータを備える、請求項24に記載の装置。

【請求項28】 チケットを格納するためのデータ構造を含むコンピュータ読み出し可能格納媒体であって、該データ構造が、

第1の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第1の開催地モジュールと、

該第1の開催地モジュールを確認するためのデバイス鍵と、

該イベントのための第1のチケットであって、チケット署名を有する。第1のチケットと、

該チケット署名を認証するための開催地鍵と、

チケットローダおよび確認デバイスのうちの1つと該第1の開催地モジュールとのインターフェースをとるためのインターフェースモジュールであって、複数の開催地モジュール間で共有可能である、インターフェースモジュールと、を備える、コンピュータ読み出し可能格納媒体。

【請求項29】 コンピュータによって実行される場合に、電子チケットを処理するための方法を該コンピュータに実行させる命令を格納するコンピュータ読み出し可能格納媒体であって、該方法が、

第1の開催地に関連する第1の開催地モジュールを受信する工程であって、該第1の開催地モジュールが該第1の開催地に対するチケットを確認するための第1の開催地鍵を含む。工程と、

50 該第1の開催地モジュールを該電子格納デバイスのモジ

(4)

特開2000-57210

5

6

ジュールロード錠を用いて確認する工程と、
 該第1の開催地で提供されるイベントに対する第1のチケットを受信する工程と、
 該第1のチケットを用いて第1のチケット署名を受信する工程と、
 該第1のチケット署名を該第1の開催地錠を用いて認証する工程と、
 該第1のチケットを該第1の開催地の確認デバイスに提供する工程と、を包含する、コンピュータ読み出し可能格納媒体。

【請求項30】 複数の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための装置であって、モジュールを受信するための受信手段であって、該モジュールがアプレットロードからのチケットを処理するための命令を包含する、受信手段と、
 該一連の命令を確認するためのモジュール確認手段と、
 チケットロードからのチケットを受信するためのチケット受信手段と、

該チケットを確認するためのチケット確認手段と、

該チケットを確認デバイスに送信するための送信手段と、を備える装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子商取引の分野に関する。より詳しくは、電子チケット発券のためのシステムおよび方法を提供する。

【0002】

【従来の技術】スポーツ開催、娯楽イベント、旅行などのためにチケットを使用することは、もはや厳密には機械的な機能ではない。チケット発券システムは、チケットの生成、発行、および確認作業のさまざまな段階においてコンピュータシステムを利用するように発展してきた。

【0003】例えば、Bersonによって開示された、米国特許第5,598,477号において、顧客は、所望のチケットに関する情報（例えば、航空便に関する予定データ）を提出する。データ処理システムは、チケット発券情報および暗号化された確認データをローカル印刷システムに送信する。ローカルシステムは、2次元バーコード中に符号化された確認情報を含むチケットを印刷する。顧客は、航空便利用時刻にチケットを提示し、そこで確認システムは、チケットのバーコードをスキャンし、データを物理的形態からデジタル形態へ変換し、チケットを確認する。有効であるならば、顧客は、搭乗券および手荷物預かり証などを受け取る。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、Bersonのシステムは、紙のチケットの発行を依然必要とする。当然ながら、紙のチケットは、スリ、重複チケット発券、損壊、紛失などを被る。さらに、Bersonのシ

ステムによって生成されるチケットは、必然的に1回限りの使用に過ぎている。チケットは、航空便を利用するときに物理的に回収される。このシステムには、さらに2つの不利な点がある。第1に、2次元バーコードの使用は、そのようなバーコードを印刷することのできるプリンタおよびそのようなバーコードを読み取れることのできるバーコードスキャナを必要とする。チケットが印刷または受理される場所の数に依存して、これは著しいコストとなり得る。第2に、確認情報を安全にする暗号手段の使用では、高度な管理システムを必要とする。

【0005】Bersonシステムの變形においては、暗号によるセキュリティの代わりに大きな乱数が使用される。特定の乱数が選択され、物理的チケット上に1次元バーコードとして印刷される。大きな数を使用すると、別個のイベント（航空便、娯楽イベントなど）に対する特定のチケットに割り当てられる番号を人が正確に言い当てる確率は、著しく低下する。乱数は、チケットが使用される場所にアクセス可能なデータベース中に格納される。チケットがある場所で提示される場合、そのチケット上の番号は、データベース中に格納された有効番号のリストと比較される。このシステムは、損壊、重複チケット発券、および単一使用の制限などの紙のチケットに固有の不利な点を依然含んでいる。加えて、さらなる保護がなければ、乱数のデータベースは、一点の脆弱性を与える。データベースへアクセスを有する人が大量の偽のチケットをおそらく生成し得る。

【0006】上記の不利な点に加えて、公知のチケット発券システムは、1つのイベントまたは1つの場所だけに対する入場を許可するものである。また、既知のシステムによって発行される紙のチケットは一般に、発行されたチケットを物理的に置き換えずには、変更されない。言い換えると、複数のイベントまたは複数の開催地を訪れたりまたは楽しんだりしたいと考える人は、各イベントまたは開催地に対する異なるチケットを持参し提示しなければならない。より多くのイベントまたは開催地を訪れる計画をすると、さらなる紙のチケットを購入し持参しなければならず、従って紛失の危険が大きくなる。

【0007】従って、本発明の目的は、単一の電子デバイス（スマートカード、および携帯コンピュータなど）上に複数の開催地で提供されるイベントに対する電子チケットを格納するためのシステムおよび方法が提供されることである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明による方法は、チケットを格納するために電子デバイスを使用する方法であって、第1の開催地に関連する第1の開催地モジュールを受信する工程であって、該第1の開催地モジュールが該第1の開催地に対するチケットを確認するための第1の開催地錠を含む、工程と、該第1の開催地モジュール

(5)

特開2000-57210

7

8

ルを該電子デバイスのモジュールロード錠を用いて認証する工程と、該第1の開催地で提供されるイベントに対する第1のチケットを受信する工程と、該第1のチケットに関連する第1のチケット署名を受信する工程と、該第1のチケット署名を該第1の開催地錠を用いて認証する工程と、該第1のチケットを該第1の開催地の確認デバイスに提供する工程と、を包含する方法により、上記目的が達成される。

【0009】前記方法は、第2の開催地に関連する第2の開催地モジュールを受信する工程であって、該第2の開催地モジュールが該第2の開催地のためのチケットを確認するための第2の開催地錠を含む、工程と、該第2の開催地モジュールを前記モジュールロード錠を用いて認証する工程と、該第2の開催地で提供されるイベントのための第2のチケットを受信する工程と、該第2のチケットを用いて第2のチケット署名を受信する工程と、該第2のチケット署名を該第2の開催地錠を用いて認証する工程と、をさらに包含する方法であって、前記第1の開催地が該第2の開催地と異なってもよい。

【0010】前記方法は、共有モジュールを受信する工程であって、該共有モジュールが前記第1の開催地モジュールによって使用される命令を含み、該第1の開催地モジュールを確認するための共有開催地錠を有する、工程と、該共有モジュールを前記モジュールロード錠を用いて確認する工程と、をさらに包含してもよい。

【0011】前記第1の開催地モジュールおよび前記共有モジュールの各々がモジュール署名を含み、前記確認する工程が前記確認されたモジュールの該モジュール署名を前記モジュールロード錠を用いて認証する工程を包含してもよい。

【0012】前記方法は、前記第1の開催地モジュールを前記共有開催地錠を用いて確認する工程をさらに包含してもよい。

【0013】第1のチケットを受信する工程が、チケットロードからのチャレンジを受信する工程と、該チャレンジを前記第1の開催地錠を用いて署名する工程と、該署名されたチャレンジを該チケットロードに送信する工程と、を包含してもよい。

【0014】第1の開催地モジュールを受信する工程が、第1の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第1の一連の命令を受信する工程と、該第1の開催地のための第1の開催地錠を受信する工程と、該一連の命令を格納する工程と、該一連の命令に関連する該第1の開催地錠を格納する工程と、を包含してもよい。

【0015】前記方法は、共有モジュールが前記電子デバイス上に格納されているかどうかを判断する工程と、該共有モジュールが該電子デバイス上に格納されていない場合は、該共有モジュールを受信する工程と、をさらに包含してもよい。

【0016】前記共有モジュールを受信する工程が、1つ以上の開催地モジュールによって使用される第2の一連の命令を受信する工程と、該1つ以上の開催地モジュールを確認するための開催地ロード錠を受信する工程と、該第2の一連の命令を格納する工程と、該第2の一連の命令に関連する該開催地ロード錠を格納する工程と、を包含してもよい。

【0017】前記確認する工程が、前記第1の開催地モジュールのモジュール署名を前記電子デバイスのモジュールロード錠を用いて認証する工程を包含してもよい。

【0018】前記方法は、前記第1のチケットをキャンセルする工程をさらに包含してもよい。

【0019】前記第1のチケットをキャンセルする工程が該第1のチケットを無効にする工程を包含してもよい。

【0020】前記方法は、前記共有モジュールを無効にする工程と、新しいバージョンの該共有モジュールを受信する工程と、をさらに包含してもよい。

【0021】電子デバイス上で複数の開催地のためのチケットを維持する方法であって、第1の開催地モジュールを格納する工程であって、該第1の開催地モジュールが第1の開催地と関連しそして第1の開催地錠を含む、工程と、チケットロードからチャレンジを受信する工程と、該第1の開催地錠を使用して、第1のデジタル署名を用いて該チャレンジを署名する工程と、該署名されたチャレンジを該チケットロードに送信する工程と、該第1の開催地におけるイベントに対する入場許可のための第1の電子チケットを受信する工程と、第1のチケット署名を受信する工程であって、該第1のチケット署名が該第1の電子チケットと関連する、工程と、該第1の開催地錠を用いて、該第1のチケット署名を認証する工程と、を包含する方法により、上記目的が達成される。

【0022】前記方法は、第2の開催地モジュールを格納する工程であって、該第2の開催地モジュールが第2の開催地と関連しそして第2の開催地錠を含む、工程を、さらに包含する方法であって、該第2の開催地が該第1の開催地と異なってもよい。

【0023】前記方法は、前記第2の開催地におけるイベントに対する入場許可のための第2の電子チケットを受信する工程と、第2のチケット署名を受信する工程であって、該第2のチケット署名が該第2の電子チケットと関連する、工程と、前記第2の開催地錠を用いて、該第2のチケット署名を認証する工程と、をさらに包含してもよい。

【0024】前記方法は、共有モジュールが格納されたかどうかを判断する工程であって、該共有モジュールが前記第1の開催地モジュールによって要求される命令を含む、工程と、該共有モジュールが格納されていない場合は、該共有モジュールを格納する工程と、をさらに包含してもよい。

(6)

特開2000-57210

9

10

【0025】前記方法は、チャレンジを受信する工程が生成された乱数を受信する工程を包含してもよい。

【0026】前記方法は、第1の電子チケットを受信する工程が、前記第1の開催地におけるイベントの1つ以上の詳細を受信する工程を包含してもよい。

【0027】チケットを提出する方法であって、該チケットが複数の開催地のためのチケットを格納することのできる電子デバイス上に格納され、開催地において確認デバイスからチャレンジを受信する工程と、第1の開催地隣を使用して該チャレンジを署名する工程と、該署名されたチャレンジを該確認デバイスに送信する工程と、該開催地におけるイベントのための第1のチケットに対する要求を受信する工程と、該第1のチケットを送信する工程と、を包含する方法により上記目的が達成される。

【0028】前記方法は、前記第1のチケットがキャンセルする工程をさらに包含してもよい。

【0029】チャレンジを受信する工程が、生成された乱数を受信する工程を包含してもよい。

【0030】前記第1のチケットを送信する工程が、前記イベントのための該第1のチケットを包含する1つ以上の詳細を送信する工程を包含してもよい。

【0031】格納のためのメモリデバイスを備えるチケット格納装置であって、第1の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第1の開催地モジュールと、該第1の開催地モジュールを確認するためのデバイス鍵と、該イベントのための第1のチケットであって、該チケットがチケット署名を有する、第1のチケットと、該チケット署名を認証するための開催地隣と、チケットロードおよび確認デバイスのうちの1つと該第1の開催地モジュールとのインターフェースをとるためのインターフェースモジュールであって、複数の開催地モジュール間で共有可能である、インターフェースモジュールと、を格納するためのチケット格納装置により、上記目的が達成される。

【0032】前記装置は、第2の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第2の開催地モジュールをさらに備えてもよい。

【0033】前記チケット格納装置がスマートカードを備えてもよい前記チケット格納装置が携帯コンピュータを備えてもよい。

【0034】チケットを格納するためのデータ構造を含むコンピュータ読み出し可能格納媒体であって、該データ構造が、第1の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための第1の開催地モジュールと、該第1の開催地モジュールを確認するためのデバイス鍵と、該イベントのための第1のチケットであって、チケット署名を有する、第1のチケットと、該チケット署名を認証するための開催地隣と、チケットロードおよび確認デバイスのうちの1つと該第1の開催地モジュールとのイ

ンターフェースをとるためのインターフェースモジュールであって、複数の開催地モジュール間で共有可能である、インターフェースモジュールと、を備える、コンピュータ読み出し可能格納媒体により、上記目的が達成される。

【0035】コンピュータによって実行される場合に、電子チケットを処理するための方法を該コンピュータに実行させる命令を格納するコンピュータ読み出し可能格納媒体であって、該方法が、第1の開催地に関連する第1の開催地モジュールを受信する工程であって、該第1の開催地モジュールが該第1の開催地に対するチケットを確認するための第1の開催地鍵を含む、工程と、該第1の開催地モジュールを該電子格納デバイスのモジュールロード鍵を用いて確認する工程と、該第1の開催地で提供されるイベントに対する第1のチケットを受信する工程と、該第1のチケットを用いて第1のチケット署名を受信する工程と、該第1のチケット署名を該第1の開催地隣を用いて認証する工程と、該第1のチケットを該第1の開催地の確認デバイスに提供する工程と、を包含する、コンピュータ読み出し可能格納媒体により、上記目的が達成される。

【0036】複数の開催地におけるイベントのためのチケットを処理するための装置であって、モジュールを受信するための受信手段であって、該モジュールがアプレットロードからのチケットを処理するための一連の命令を包含する、受信手段と、該一連の命令を確認するためのモジュール確認手段と、チケットロードからのチケットを受信するためのチケット受信手段と、該チケットを確認するためのチケット確認手段と、該チケットを確認デバイスに送信するための送信手段と、を備える装置により、上記目的が達成される。

【0037】本発明の1つの実施態様において、単一の電子デバイス（スマートカード、および携帯コンピュータなど）上に複数の開催地で提供されるイベントに対する電子チケットを格納するためのシステムおよび方法が提供される。この実施態様において、電子デバイスは、チケットが購入される各開催地に関連した開催地モジュールを受信し格納する。開催地モジュールは、電子デバイスが、関連した開催地に対するチケットを格納することを可能にし、また個々のチケットを確認するための開催地隣を含む。電子デバイスはまた、1つ以上の開催地モジュールによって要求される命令を含むチケット発券共有モジュールを受信し格納する。チケット発券共有モジュールは、インストールされた開催地モジュールを確認するための「開催地ロード鍵」を含む。

【0038】電子デバイスがチケット発券共有モジュールおよび1つ以上の開催地モジュールを用いて構成された後に、各インストールされた開催地モジュールに対するチケットが格納され得る。本発明の本実施態様において、電子デバイスのユーザは、チケットに対するパラメ

(7)

特開2000-57210

11

ータ（イベント、日付、時刻、座席など）を特定し、対応する電子チケットがチケット署名とともにチケットローダからダウンロードされる。対応する開催地モジュールに対する開催地モジュールは、その開催地鍵を使用して、各格納されたチケットの署名を認証する。

【0039】チケットがイベントへの入場許可のために提示されるものである場合、本実施態様においては、確認デバイスがチャレンジコードを発行することによって電子デバイスをチャレンジする。イベントの開催地に対する開催地モジュールは、開催地鍵を用いてそのコードを署名し、署名されたコードを返信する。署名が確認された後に、電子デバイスはイベントに対するチケットを転送し、チケットはキャンセルされる。

【0040】

【発明の実施の形態】以下の記載により、当業者は、本発明を作成および使用することができる。以下の記載は、特定の用途およびその要求にしたがって与えられる。本発明は、本明細書中で示される実施態様に限定されるように意図されないが、本明細書中で開示される原理および特徴に整合する最も広い範囲に従うものである。

【0041】例えば、本発明の本実施態様において、暗号手段は、スマートカード上にロードされる電子チケットおよび開催地モジュールまたはアプレット（小規模Javaアプリケーションなど）の安全性を確実にするために用いられる。当業者は、以下に記載される暗号鍵の目的が、スマートカード上に格納された情報の安全性および認証性を確実にするためであり、特に指摘しなければ必ずしも特定の暗号システムに依存しないことを理解する。したがって、種々の暗号鍵は、種々の目的のために以下に記載される。しかし、本発明は、暗号の安全性のための特定の方法に限定されず、本発明の特定の実施態様は、非対称鍵システム、対象鍵システム、または工夫され得るようないくつかの他のシステムを使用し得る。

【0042】本発明の1つの実施態様によると、複数の開催地に対する電子チケットを生成、格納、および確認するためのシステムおよび方法が与えられる。チケットは、例示的に標準的スマートカード上に格納されるが、3COM CorporationによるPalmPilotまたはDallas SemiconductorによるiButtonなどの他のデバイスも意図される。格納されたチケットは、スポーツイベント、娯楽イベント、航空便、および自動車通行料などの、入場券または通行券が予め購入され得る任意の機会に対するものであり得る。本発明の本実施態様によりチケットがスマート上に格納された各開催地は、スマートカード上に格納された関連アプレットを有する。チケット発券共有アプレットがまた格納される。以下に記載されるように、これらのアプレットは、スマートカードとチケット/開

12

催地ロード機能との間およびスマートカードとチケット確認デバイスとの間のインターフェースをとるために使用される。

【0043】図1は、ユーザのスマートカード上に格納されたチケットを発行、格納、および確認するための本発明の実施態様による例示的システムを図示する。スマートカード100は、スマートカードに対するISO7816仕様に例示的に従う。このようなスマートカードは、後に取り出されるための電子データの種々の種類および量を格納することができる。

【0044】アプレットローダ102は、スマートカード100上へ1つ以上のアプレットをロードする。アプレットローダ102によってスマートカード100上へロードされるアプレットは、スマートカード100がロードされたアプレットに関連した開催地へのチケットを格納することを可能にする。例えば、1つの開催地アプレットは、San Francisco Giantsによって開催される野球の試合に対応し得る。このアプレットをロードすることは、スマートカード100が特定の試合またはある範囲の試合（例えば、シーズンパス）に対するチケットを格納することを可能にする。例示的に、アプレットローダ102は、単一開催地に関するアプレットをロードするように構成される。しかし、別の実施態様において、アプレットローダ102は、複数の開催地からアプレットをロードする。

【0045】開催地アプレット（すなわち、個々の開催地に関連したアプレット）に加えて、チケット発券共有アプレットがまた、すべての開催地アプレットによって使用されるためにスマートカード100上へロードされる。以下に議論されるように、この共有アプレットは、開催地アプレットの各々に共通して利用可能であり、開催地アプレットの各々に代わって使用される機能を与える。

【0046】チケットローダ104は、個々のイベント（またはある範囲のイベント）に対する電子チケットをスマートカード100上へロードする。各スマートカードは、同じまたは異なるイベント、開催地、および日付などに対する複数のチケットを格納することができる。例示的に、スマートカード100上へロードされた各チケットは、イベントを開催しチケットを受領する開催地に対応する開催地アプレットに関連して格納される。本実施態様において、開催地のアプレットは、その開催地でのイベントに対するチケットがロードされる前にスマートカード100上へ（アプレットローダ102などによって）ロードされる。

【0047】例示的に、チケット確認デバイス106は、イベントを開催する開催地に位置し、そのイベントに対するチケットがスマートカード100に格納される。確認デバイス106は、チケットが現在のイベントに対するものであることを保証するようにチケットを確

(8)

特開2000-57210

13

認し、この確認に基づいてチケットを受信する。

【0048】本発明の本実施態様において、アプレットローダ102、チケットローダ104、および確認デバイス106は、スマートカード100を受信、読み取り、および書き込みするために備えられた別個の電子システムである。この実施態様において、ユーザは、所望の処理を行うために各システムにスマートカード100を物理的に提示する。別の実施態様において、アプレットローダ102、チケットローダ104、および確認デバイス106のいずれかまたはすべてが同じシステムに配置する。特に、アプレットローダおよびチケットローダがそうである。

【0049】本発明のさらに別の実施態様において、アプレットローダ102、チケットローダ104、および確認デバイス106のいずれかまたはすべてがインターネットまたは他のワイドエリアネットワークに接続されたコンピュータシステムを備える。このような実施態様において、これらのシステムは、スマートカード100を受信、読み取り、および書き込みするために備えられたユーザのコンピュータシステムを介してユーザによってアクセスされる。

【0050】図2は、チケット発券共有アプレット、複数の開催地アプレット、および複数のチケットが存在するスマートカード100を図示する。スマートカード100は、他のデバイス（図1のアプレットローダ102、チケットローダ104、および確認デバイス106など）とインターフェースをとり、スマートカードからの情報の取り出しおよび格納を管理するためのオペレーティングシステム200を備える。オペレーティングシステム200は、例示される実施態様において、ロードされたアプレットを動作させるためのJava Virtual Machine (JVM)を含む。オペレーティングシステム200は、スマートカード100上へロードされたアプレットを確認するための暗号鍵200a（以下「アプレットローダ鍵」と称される）をさらに含む。したがって、アプレット署名202b、210b、および220bは、アプレットがロードされたときに、アプレットローダ鍵200aを用いて認証される。例示的に、アプレット署名は、関連したアプレットのロードの前またはそれと同時に作成される。

【0051】チケット発券共有アプレット202は、スマートカード100上にインストールされた種々の開催地アプレットによって要求される命令（例えば、モジュール、オブジェクト、およびファンクションなどの形態をとる）を含む。チケット発券共有アプレット202は、各開催地アプレットに共通の機能（チケット確認、チケットローダ104および確認デバイス106と通信するためのプロトコルなど）を与え、したがって各開催地アプレットのサイズがより小さくなることを可能にし、従ってスマートカード100上に格納領域を確保で

14

きる。例えば、本発明の1つの実施態様において、チケット発券共有アプレット202は、チケットをロード、確認、および/またはキャンセル（例えば、イベントへの入場許可を得るためにチケットが使用された後のキャンセル）をするための命令を与える。チケット発券共有アプレット202は、以下で記述されるように、個々の開催地アプレットを確認するために暗号鍵202a（以下「開催地ローダ鍵」と称される）を含む。特に、開催地アプレットがロードされたとき、チケット発券共有アプレット202は、各アプレットの開催地署名を認証する。

【0052】本発明の別の実施態様において、チケット発券共有アプレットは、チケットの詳細を遵守することを強制または確実にするための命令を含む。例えば、このような実施態様において、スマートカード100は、ユーザがチケットで決められた自分の座席に座っていることを確かめたり、または正しい座席を見つけることを補助するためにイベントにおける各席区域内に配置されるスマートカード読み取り器に挿入され得る。

【0053】開催地アプレット210および220は、スマートカード100上にインストールされている様子が示される。例示的に、開催地アプレット210は、San Francisco Giantsのホームでの野球の試合を表す。開催地アプレット220は、例示的にUnited Airlinesの航空便を表す。開催地アプレット210および220は、チケットをロードする前にチケットローダ104に対し開催地アプレット210および220を認証するために使用される暗号鍵210aおよび220a（以下「開催地鍵」と称される）を含む。開催地鍵はまた、関連した開催地に対する、チケットに伴うチケット署名を確認するために使用される。

【0054】開催地アプレット210および220はまた、オペレーティングシステム200に対し開催地アプレットを確認するためのアプレット署名210bおよび220bを含む。上述のように、例示的に、アプレット署名は、開催地アプレットのロードの前またはそれと同時にアプレットローダ102によって作成される。次にオペレーティングシステム200は、アプレットがロードされたときに、アプレットローダ鍵200aを用いてアプレット署名210bおよび220bを認証する。

【0055】開催地アプレット210および220は、チケット発券共有アプレットに対し開催地アプレットを確認するための開催地署名210cおよび220cをさらに含む。アプレット署名210bおよび220bと同様に、開催地署名210cおよび220cは、開催地アプレット210および220のインストールの前またはそれと同時に作成される。開催地アプレットがロードされたとき、チケット発券共有アプレット202は、開催地署名を認証する。

(9)

特開2000-57210

15

【0056】チケット212、214、および216は、San Francisco Giantsのホームで行われる特定の野球の試合を表す。チケット222は、San FranciscoからPittsburgh, PAへのUnited Airlinesにより提供される特定の航空便を表す。

【0057】スマートカード100上に格納された各チケットは、関連イベントに関する情報を含む。したがって、チケット212、214、および216は、試合の日付、対戦相手、および指定座席番号などの情報を含む。本発明の本実施態様において、チケット中に格納された情報は、チケットの認証を確認するためにチケット署名とともに使用される。したがって、チケットに格納された情報の量および種類は、開催地、イベント、およびチケットの種類などに依存して変化する。個々のチケット212、214、および216の代わりに、スマートカード100の所有者は、例えば、シーズンパスの形態の唯一のチケットを有することがある。シーズンパスチケットは、1日を超えて有効であり、したがってチケット212、214、および216と異なる情報を含む。

【0058】チケット212、214、216、および222はそれぞれ、対応する開催地の鍵を用いてチケットローダ104によって生成されたチケット署名（参照符号212a、214a、216a、および222aによって表される）を含む。公開鍵暗号（PKE）および非対称鍵ペアを用い、開催地鍵210aおよび220aが開催地公開鍵である本発明の実施態様において、チケット署名は、公開鍵に対応する秘密鍵を使用して生成される。対象鍵（DESなど）を使用する別の実施態様において、チケットローダ104は、開催地鍵210aおよび220aのコピーを用いて、発行されたチケットの署名をする。上記のように、チケットがスマートカード100上へロードされたとき、対応する開催地アプレットは、チケット署名をその開催地鍵を用いて認証することによってチケットを確認する。

【0059】当業者は、スマートカード100上に格納されたアプレットが、データの秘密を保持し得、したがって他の格納されたアプレットへアクセス不可能であることを理解する。これは、1つのアプレットが、特定の開催地アプレットと関連したチケットに不正を働いたり、または検査したりすることを防止する。しかし、本実施態様において、チケットは、確認デバイス106に提示された後にキャンセルまたは使用不可にされる。別の実施態様において、個々のチケットは、削除または上書きされる。

【0060】アプレットのロード

本発明の本実施態様において、スマートカード100上にロードされる開催地アプレットおよびチケット発券共有アプレットは、実行可能なコンピュータプログラムま

16

たは実行可能なコンピュータコードのモジュールを含む。本発明の本実施態様において、チケット発券共有アプレットは、スマートカード間で実質的に同一である。各開催地の開催地アプレットは同様に、開催地鍵およびロードされ得る任意のチケットを除いて、スマートカード間で同様である。

【0061】本発明の1つの実施態様において、開催地アプレットは、標準的な方法によって構成されたJavaアプリケーションを含む。例えば、Javaプログラミング命令を含むファイルは、バイナリクラスファイルを形成するためにJavaコンパイラを用いてコンパイルされる。次に、クラスファイルは、スマートカードアプリケーションファイルに変換される。この変換プロセス中に、カードアプリケーションファイルは、暗号化の種類（例えば、対称または非対称）に依存して、アプレットローダ200a（図2に示す）またはその相補形を使用してデジタル的に署名される。

【0062】図3は、署名されたカードアプリケーションファイル（例えば、図2のアプレット210）がアプレットローダ102からスマートカード100上へロードされる例示的なプロセスを図示する。本発明の本実施態様において、アプレットローダ102は、チケット販売機であり、チケットローダ104と同じ場所に配置される。この実施態様において、開催地アプレット210は、Giantsの野球チケットが購入されたときに、アプレットがまだスマートカード100上になければ、自動的にロードされる。また、この実施態様において、チケット発券共有アプレット202は、スマートカード100上になければ自動的にロードされる。別の実施態様において、チケット発券共有アプレット202および開催地アプレット210のいずれか一方または両方が、スマートカードが製造される時点またはそれが販売される時点で、スマートカード上に予めロードされる。

【0063】ここで図3を参照すると、状態300は開始状態である。状態302において、アプレットローダ102は、スマートカード100に結合され、アプレット210をダウンロードする準備をする。例示的に、スマートカード100の所有者は、アプレットローダ102を含むデバイスへスマートカードを挿入し、アプレット210のインストールを選択する（例えば、Giantsの野球チケットの購入を希望することによって）。別の実施態様において、所有者は、インターネットまたは他の通信リンクを介してアプレットローダ102に接続された別のコンピュータシステムにスマートカード100を挿入する。

【0064】状態304において、スマートカード100は、アプレットをロードする準備がなされたことを示し、そして、本実施態様においては、現在の構成に関する情報（どのアプレットがロードされるか、どのバージョンのオペレーティングシステムおよびJava V

(10)

特開2000-57210

17

rtual Machineがインストールされるかなどの情報)をアプレットローダに渡す。1つの実施態様において、スマートカード100は、アプレットを受信する用意ができたことを示す前に自己チェックを行う。例示的に、自己チェックは、データを格納および取り出すカードの能力を試験し、不良なまたは損壊のあるメモリセルを試験する。スマートカードによってアプレットローダ102へ転送された情報は、カード上で利用できる格納領域の量を含み得る。選択されたアプレットをロードするための領域が不十分な場合、エラーメッセージがユーザに示される。

【0065】状態306において、アプレットローダ102は、チケット発券共有アプレット202がすでにスマートカード100上に存在するかどうかを判断する。上記のように、チケット発券共有アプレット202は、開催地アプレット210および他の開催地アプレットによって使用される命令を含む。例示的に、この判断は、状態304においてスマートカード100によってアプレットローダ102へ返された情報に基づいてなされる。

【0066】状態306においてチケット発券共有アプレット202がスマートカード100上にインストールされていないと判断される場合、プロセスは、状態310へ続く。そうでない場合は、状態308において開催地アプレット210がすでにスマートカード100上にロードされているかどうか判断される。ロードされていない場合は、プロセスは、状態316に進む。しかし、両方のアプレットがすでにロードされていれば、プロセスは終了状態320へ進む。

【0067】状態310において、チケット発券共有アプレットは、また署名されていない場合は、アプレットローダ200aに相補的な暗号鍵(例えば、非対称暗号システムを使用する場合、「秘密」鍵は「公開」鍵200aに対応する)を用いて署名され(例えば、アプレットローダ102によって)、アプレット署名202b(図2参照)を作成する。次に、署名されたアプレットは、スマートカード100にダウンロードされる。例示的に、アプレットは、何バイトかの複数のストリーム(例えば、各ストリーム中約200バイト)でスマートカード上にダウンロードおよび格納され、各ストリームは、関連したチェックサムによって確認される。状態312において、スマートカードは、アプレットの正確な受信を確認し、状態314においてインストールが成功したかしていないかをアプレットローダに通知する。共有アプレット202が正しくロードされていなかったならば、エラーメッセージが返され、プロセスは、終了状態320で終了する。

【0068】チケット発券共有アプレット202のインストールが成功すれば、または開催地アプレット210がロードされていないと状態308において判断される

18

ならば、プロセスは状態316に進む。

【0069】状態316において、開催地アプレット210は、アプレットローダ102によって署名され(まだ署名されていない場合は)、アプレット署名210bおよび/または開催地署名210cを作成し、そして次にアプレットローダ102からスマートカード100上へダウンロードされる。以下に議論されるように、開催地鍵210aは、チケットローダ104に対する開催地アプレット210を認証するためおよびチケットローダからロードされたチケットを確認するために使用される。好ましい暗号安全性の種類(例えば、対称または非対称鍵)に依存して、アプレット署名210bおよび開催地署名210cは、アプレットローダ200aおよび開催地ローダ202a、またはその相補形をそれぞれ用いて作成される。

【0070】状態318において、スマートカード100は、ダウンロードされたアプレットを確認し、アプレットのロードが成功したかまたはエラーが起きたかをアプレットローダに示す。例示的に、スマートカード100は、チェックサムを計算しそれをアプレットローダ102によって与えられたチェックサムと比較することによってアプレットの受信が成功したことを確認する。別の実施態様において、ダウンロードされたアプレットのアプレット署名210bは、署名の作成に使用された鍵の形態に対応する暗号技術を用いて確認される。1つの特定のこのような実施態様において、スマートカード100は、アプレットからのハッシュ値を計算し、その値と署名から取り出されたハッシュ値とを比較する。この2つのハッシュ値が一致すれば、スマートカードはアプレットが完全な状態で受信されたと考えられる。同様のプロセスを使用して、チケットがダウンロードされた場合にチケット署名を確認する。次いでプロセスは、終了状態302で終了する。

【0071】チケットのロード

一旦開催地アプレットがスマートカード100上へロードされると、その開催地でのイベント(スポーツ競技場での競技または試合、航空会社によって提供される航空便など)に対するチケットは購入され、同様にロードされ得る。本発明の本実施態様において、開催地アプレット、チケット発券共有アプレット202、および関連チケットは、互いに併せあって、組合わせられたチケット/アプレットローダから必要に応じてロードされる。

【0072】図4は、チケットローダ104からGiant'sの野球の試合(これのための開催地アプレット210がインストールされている)に対する電子チケットを購入し、電子チケットをスマートカード100上にインストールするための例示的な手続きを図示する。本発明の本実施態様において、チケットローダ104は、インターネットなどの公衆通信回線に接続されたウェブサーバの一部である。この実施態様において、スマートカ

(11)

特開2000-57210

19

ード100は、スマートカード100の所有者によって操作されるコンピュータシステムに結合される。このコンピュータシステムはまた、インターネットに接続される。チケットは、開催地のウェブサーバに対するインターフェースを使用して選択され、次にインターネットを介してダウンロードされ、スマートカード100上に格納される。

【0073】ここで図4を参照すると、状態400が開始状態である。状態402において、スマートカード100の所有者は、チケット購入/ロード手続きを開始する。本発明の1つの実施態様において、所有者は、第1に、チケットを希望するイベントを選択する。ここで記述の実施態様において、例えば、野球の試合は、所望の座席の番号および種類とともに特定される。別の例として、所有者は、航空路線予約代理人に対して所有者が搭乗を希望する航空便（日付、時刻、およびおそらく座席を含む）を特定する。スマートカードの所有者が開催地/イベントを選択し、そのイベントに関する任意の必要事項または基準を特定した後に、所有者は、そのように構成されたチケットの受信を台図する。

【0074】状態404において、チケットローダ104は、スマートカードおよび/または開催地アプレット210を認証するために、自分自身を識別し、スマートカード100にチャレンジする。例示的に、チャレンジは、チケットローダ104によってスマートカード100へ送信された乱数の形態をとる「ゼロ知識証明（zero knowledge proof）」である。開催地アプレット210は、開催地鍵210aを用いてデジタル署名を生成し、そして結果をチケットローダ104に戻すことによってチャレンジを満了する。別の実施態様において、開催地アプレット210は、開催地鍵210aを用いて乱数を暗号化し、そして結果をチケットローダ104に戻すことによって、状態406においてチャレンジを満了する。

【0075】状態408において、チケットローダ104は、スマートカード100から受け取られた署名を確認する。この確認の目的のために、チケットローダ104は、開催地鍵210aに対して相補形の鍵を有する。例えば、開催地鍵210aが関連する開催地の公開鍵である。非対称鍵（例えば、RSA）を使用する本発明の実施態様において、チケットローダ104は、対応する秘密鍵を有する。対称鍵（例えば、デジタル暗号基準）を使用する本発明の実施態様において、チケットローダ104および開催地アプレット210は、同じ鍵のコピーを有する。確認の試みが失敗すれば、チケットロードプロセスは、実施および安全性の關係に依存して、チャレンジ/確認手続きを再度試みるか（制限回数まで）、または失敗しそしてエラーを報告するかのいずれかを行う。

【0076】次に、状態410において、チケットロー

20

ダ104は、スマートカードの所有者/ユーザによって選択されたイベントデータに基づいて開催地に対するチケット212を生成および署名する。例示的に、チケットローダ104は、開催地アプレット210が状態408において確認されたのと同じ鍵を使用してチケット212に署名する。状態412において、署名212aで署名を完了したチケット212が、スマートカード100上にダウンロードおよび格納される。

【0077】状態414において、開催地アプレット210は、開催地鍵210aを用いて署名212aを認証することによって、ダウンロードされたチケット212を確認し、そして状態416において、成功または失敗を示すメッセージを用いて応答する。本発明の別の実施態様において、開催地鍵210aと異なる第2の開催地鍵が、ダウンロードされたチケットを確認する目的のために開催地アプレット210とともに格納される。手続きは、終了状態418で終了する。

【0078】ここで記述の実施態様において、上記プロセスに続いて、各チケットがチケットローダ104からダウンロードされなければならない。別の実施態様において、複数のチケットが、一度に1つの開催地に対して、選択、処理、およびダウンロードされ得る。

【0079】チケット確認

本発明の本実施態様において、チケットは、適切な開催地での受信のために提示される場合に、確認デバイス106によって確認される。図5は、本発明の本実施態様による、チケット212を確認するための例示の手続きを図示する。

【0080】状態500は、開始状態である。状態502において、ユーザは、チケット212において特定される野球の試合への入場許可を得るために、スマートカード100を確認デバイス106へ提示する。例示的に、確認デバイス106は、スマートカード100を受け取り、それと通信するように構成されたコンピュータシステムを含む。

【0081】状態504において、確認デバイス106は、上記チケットロード手続きにおいて行われたように、スマートカード100に対するチャレンジを生成および発行する。スマートカード100に与えられる乱数は、状態506において、開催地鍵210aを使用して、開催地アプレット210によって署名される。状態508において、確認デバイスが開催地鍵210aに相補形の鍵を使用して署名を認証することによって、確認デバイス106は、開催地アプレット210を確認できる。

【0082】署名を認証した後に、状態510において、確認デバイス106は、スマートカード100によって保持されるチケットデータを要求する。開催地アプレット210は、状態512において、チケット212（例えば、チケットデータおよび署名）を確認デバイス

(12)

特開2000-57210

21

106に送信する。例示的に、確認デバイス106は、日付、時刻、および／または他の識別データによって識別される、現在のイベントに対して使用可能な格納されたチケットだけが通知される。本発明の1つの実施態様において、チケット発券共有アプレット202は、確認デバイス106に対して特定されるチケットを決定する（例えば、どの開催地—したがってどの開催地アプレットおよびチケット—が確認デバイスに対応するかを決定することによって）。あるいは、開催地アプレット210および確認デバイス106は、現在の開催地に関連した複数のチケットのうちのどれが使用されるべきかを決定するために、通信する。

【0083】状態514において、確認デバイス106は、チケットデータを確認し（例えば、日付、時刻、参加チーム、および座席番号を確かめる）、チケット署名を認証する。チケットデータおよび署名が検査を通過すれば、スマートカード100は、チケット212をキャンセルまたは消去するように命令され、ユーザは許可される。

【0084】本発明のここで記述の実施態様において、チケット212は、スマートカード100上にロードされた将来のチケットを用いて上書きされる。別の実施態様において、チケットは、消去も上書きもされない。

【0085】1つのスマートカード上にある複数の開催地のための電子チケットを格納および確認するためのシステムおよび方法が提供される。本実施態様によると、スマートカードのオペレーティングシステムは、Java Virtual Machineおよびアプレットロード装置を含む。開催地ロード装置を含む共有アプレットは、アプレットロード装置を用いて確認され、スマートカード上に格納される。1つ以上の開催地アプレットがまた、関連する開催地に対応するそれぞれの開催地鍵とともにスマートカード上に格納される。各開催地アプレットは、アプレットロード装置および開催地ロード装置によって確認される。共有アプレットは、チケットロードおよびチケット確認デバイスとのインターフェースをとるために開催地アプレットによって使用される。チケットは、開催地アプレットに関連するイベントに対して購入され、関連する開催地アプレットに関連してスマートカード上に格納される。チケット署名は、各開催地アプレット開催地鍵を用いて認証される。チケットは、イベン

22

トへの入場許可を得るために提出された後にキャンセルされる。

【0086】本発明の実施態様の前述の記載は、例示および説明だけの目的で提示された。例示および記載は、あらゆる実施例を説明し尽くすものでもなければ、本発明を開示された形態に限定することを意図しない。多くの改変および変更が当業者にとって明らかである。したがって、上記開示は本発明を限定することを意図せず、本発明の範囲は、添付の請求の範囲によって規定される。

【0087】

【発明の効果】単一の電子デバイス（スマートカード、および携帯コンピュータなど）上に複数の開催地で提供されるイベントに対する電子チケットを格納するためのシステムおよび方法が提供される。これにより、紙のチケットの発行を必要がなくなり、さらに、多くのイベントに参加する場合、多くの紙のチケットを持参する必要がなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】スマートカードが開催地アプレットおよび開催地への入場のためのチケットを格納するために使用される。本発明の実施態様によるシステムを図示する1つのブロック図である。

【図2】複数の開催地アプレットおよびチケットを含む。本発明の実施態様によるスマートカードを図示する図である。

【図3】スマートカード上に開催地アプレットをロードする。本発明の実施態様による1つの方法を示すフローチャートである。

【図4】スマートカード上にチケットをロードする。本発明の実施態様による1つの方法を示すフローチャートである。

【図5】スマートカード上に格納されたチケットを確認する。本発明の実施態様による1つの方法を示すフローチャートである。

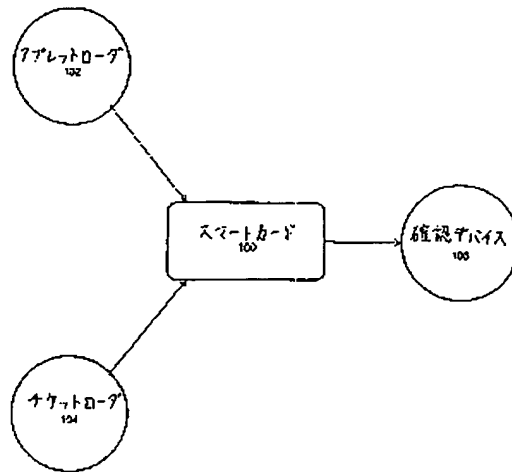
【符号の説明】

100 スマートカード
102 アプレットローダ
104 チケットローダ
106 確認デバイス

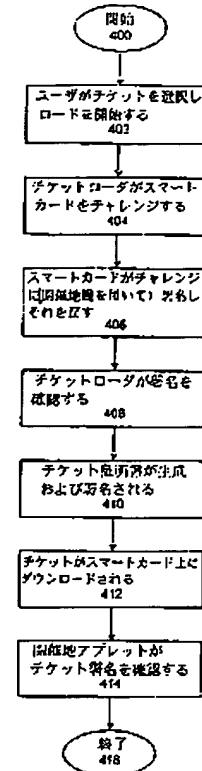
(13)

特開2000-57210

【図1】



【図4】



(14)

特開2000-57210

【圖2】

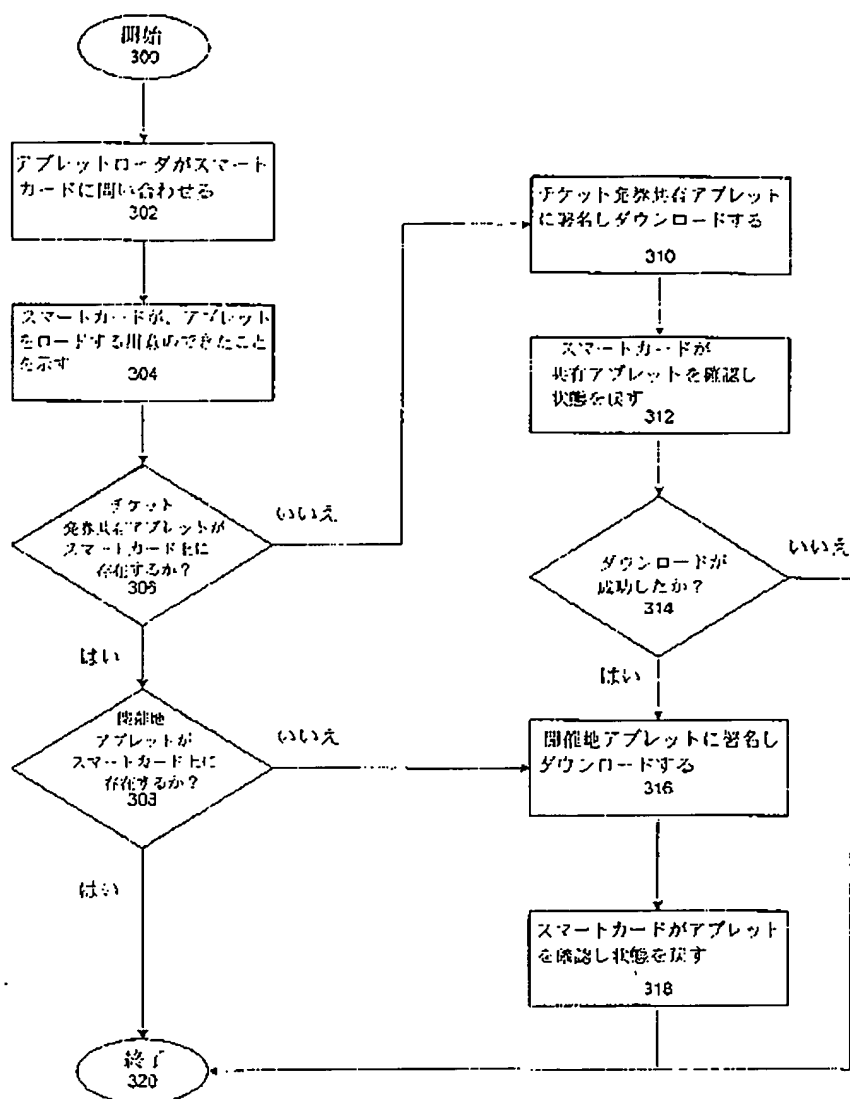
共有アフレット 202	UNITED AIRLINES チケツトアフレット 220		航空便 007 SFO から PIT 8/25/98 座席 4B 222	PITTSBURGH PIRATES 8/24/98 座席 15C 216	
	開催地鍵 220a	アフレット署名 220b	開催地署名 220c	チケツト署名 222a	チケツト署名 214a
	開催地鍵 210a	アフレット署名 210b	開催地署名 210c	チケツト署名 212b	チケツト署名 216a
	開催地鍵 202a	アフレット署名 202b	開催地署名 202c	チケツト署名 202a	チケツト署名 202b
SAN FRANCISCO GIANTS チケツトアフレット 210		開催地署名 210c		チケツト署名 214a	
開催地鍵 210a		アフレット署名 210b	開催地署名 210c	チケツト署名 212b	チケツト署名 216a
開催地鍵 202a		アフレット署名 202b	開催地署名 202c	チケツト署名 202a	チケツト署名 202b

オペレーティングシステム (Java Virtual Machine) 200

(15)

特開2000-57210

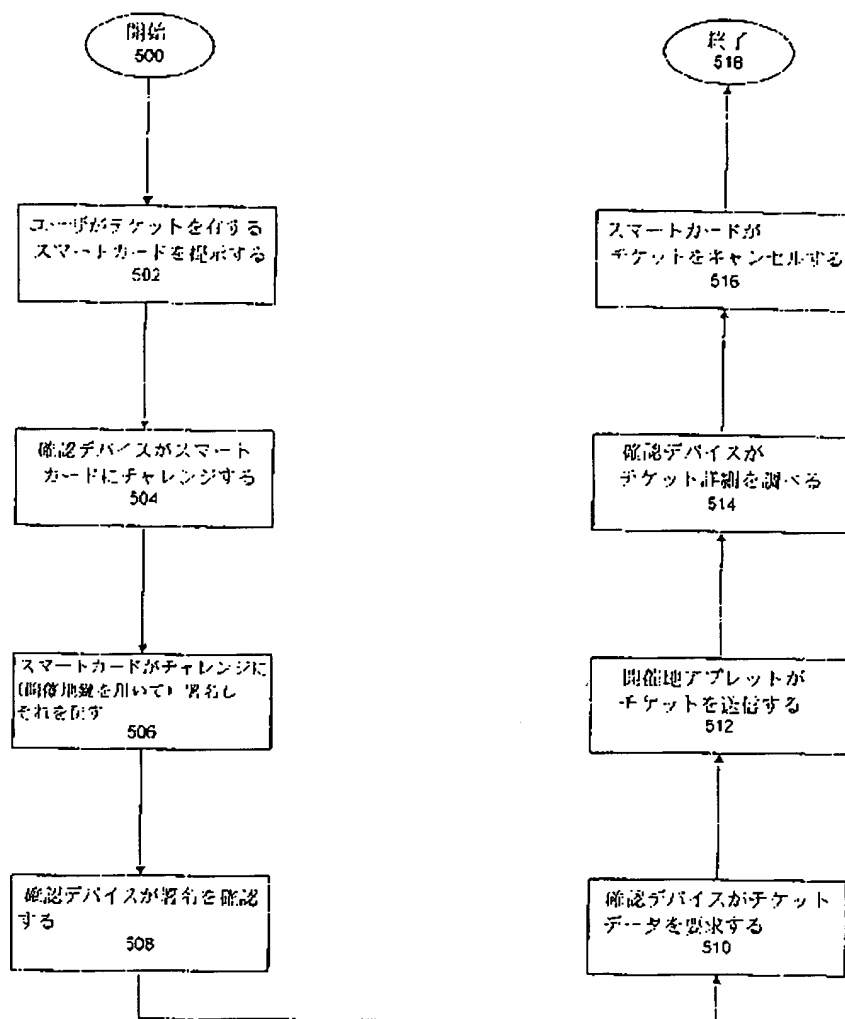
【図3】



(16)

特開2000-57210

【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 セオドル チャールズ ゴールドステイ
ン
アメリカ合衆国 カリフォルニア 94306,
バロ アルト, ラバラ アベニュー
875

(72)発明者 ジョナサン ビー. ジエグラ
アメリカ合衆国 カリフォルニア 95014,
クベルティノ, サンタ ルシア ロー
ド 10611

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☒ **SKewed/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.